

再生

再生の題字（森迪彦様提供）は、森信三先生の直筆です。



師友道友の活動を綴る善行伝承誌

人間は一生のうち逢うべき人には必ず逢える。

しかも一瞬早過ぎず、一瞬遅すぎない時に——。

森信三先生一語千鈞より



第0057号

2021.5月号

令和参年

実践人福岡仁風読書会

現代における孝の哲理

森 信三先生 講述

— マナコを閉じて親の祈り心を —

十二敬と愛とは相呼応して無限に循環する

いのちの呼応

昔から「子を持つて知る親の恩」という諺がありますが、これは永遠の哲理ともいべきであつて、われわれ人間は、自分がひとさまのお世話になつてゐる間はそれに気づきにくい、やがて多少とも人さまのお世話をさせて頂くようになつたところになつて、初めてそれに気づかされ、それがいかに大へんな事だつたかということが、初めて分り出すのであります。

わたくしが今日、若いみなさん方に対して、親子というものについて考え「孝の哲理」について述べるのも、そこには永遠不変な天地の大真理が作用しているからであり、同時にそこには、それに対するわたくし自身のさんげの心もふまえてのことでありました、いわば一種の罪ほろぼしともいえるわけでありました。

ところで親子の関係はもとより、すべて人間関係というものは、これをその内面からみる時、いのちの呼応関係であります。すなわち我われ人と人とが相対する時、そこにはいのちといのちとが互いに響き合い通じあうというのが、人間関係の姿であります。そしてそのために絶対不可欠な手だてとなるのが、第一にはコトバであり、第二は表情すなわち顔つきであります。そしてコトバの表現には、話しコトバとしての声による表現と、文字による書きコトバの表現とがあり、いずれにしても強弱・明暗から、さらには質や量等まで問題になるわけでありました。この点は、すなわち顔つきにおいても同様でありまして、人間関係における最有力な表現手段と申してよびたいよう。

ここで千古不滅の名言として思い起こしますのは、道元禪師の「和顔愛語」という一語であり、さらには「愛語よく回天のちからあるを知るべきなり」というおさとしであります。

そしてここに敬の情が愛の心を呼び、また愛の心が情を目ざます原動力となるのでありまして、ここにいのちは互いに相呼応し循環して、われわれ人間を内から動かす力となるのであります。

ところで、こうしたいのちの原動力を生み出す「和顔愛語」の実践者こそ、年齢や地位の上下などに関係なく、人生の深い真理の体認者と申すべきで、こうした人こそ相手に先んじて人心を聞かれる愛の行者であります。それについてもいつも申すことですが、朝のあいさつは元来は子の方から先に親に対してするのが当然のタテマですが、しかしそれをわが子にしつけるには、最初のうちは親の方から子に対して、呼び水として朝のアイサツをされる様にと申しているのではありません。そうすることによつて、初めて子どもも親へあいさつをする様になるからであります。そして、そこにいのちの呼応循環の真理の威力がひそんでいるのであります。そしてこれがやがて親を通して先祖につながり、さらには大宇宙の根源生命にもつながるようになるのであります。同時にこのような円環運動によつて発するいのちの威力たるや、実に想像を絶するものがあります。

次号へつづく

実践人福岡仁風読書会 第53回 4月3日(土)

場所福岡県糟屋郡志免町向ヶ丘2丁目4番3号 仁風庵にて

(実践人の家の会員であればどなたでも参加できます)

(参加費無料) 詳細は、世話人へお問い合わせください。

父のない子

四年生になって担任がかわり、私が持つ事になった。体もどうやらもともどり、悪そうもするが、気がかりなのは、人の言った事を素直にうけとれないひねくれた気持のひそむことだった。

教育記録の中からI君の生活態度をひろって見る。

五月六日

学校の帰りにお菓子を買って友達にふるまう。注意をすると「自分のお金だからいいじゃないか。人のお世話になつていけないのだから。」

五月十一日

四部家庭訪問

「I君今日はお母さんいらつしやるね。」

「先生こんでよかばい。お母さんはどうせおんなれんから」

五月二十八日

小林弘子頭にほうたいをしてくる。

「どうしたの。」「弘志君が石をなげたのです。」

「ごめんなさいを言つて来なさい。」

「帰りによつたからいいじゃない。」

「この子は何を考え、何をするのでしょうか。」

何が原因なのか。

静かに考えて見ると、決して頭の悪い子ではない。病院生活が甘えを与え、自制心を失つたのではないか。それともお母さんの愛情に溺れているのだろうか。

七月二日

何気なく手洗いにいって外を見ると、I君を先頭にかばんをおろして観音様のお堂で遊んでいる。

「早く帰りなさいよ。」

「早く帰ったら仕事せんならんもん。」

七月十四日

校舎の裏側に芋ばたけを作る。中庭の土を運ぶ。いつもぬけ道の多いI君が今日はめずらしく懸命に土を運ぶ。

「I君ががんばるから大きなおいもが入るよ。」

「ぼくが一番たくさんたべてやるんだ。」

九月四日

欠席。兄さん(六年生)のところへ行って聞く。

「知りません。来ていませんか?」

私はなんとなく胸さわぎがした。夏休みの惰性で学校に来たくない。ずる休み。民生委員の方が近所なので電話をして見て来てもらう。

「頭がいたかったといつて、ねとりますバイ。」

ほつと一息。

この様な事は時々あった。

九月八日

笛を一人づつふかせてみる。

I君リズムカルにとてもよくふける。

私はこれだと思った。

次号へつづく



人生で初めて福岡空港の掃除をしましたが、とても素晴らしいものでした。仕事で福岡空港を利用することが多かったのですが、あそこまでゴミが沢山落ちているとは思っていませんでした。

ただ、早朝の掃除をした日の1日はとても清々しいもので、日常では味わえない経験をすることが出来ました。次回も参加したいと思います。

初参加：YUICHIRO



今日は、お掃除の先輩の息子さんが参加されました。なんと19才！
とっても柔らかく、優しい笑顔のおかげで私もニコニコしていたと思います。自分の子供たちもこうやって色々な方とご縁があってくれたらなあと感じる、そんな心も体も暖かいお掃除でした。東京からのお二人も参加されていて、みなさんの笑顔がキラキラでした。楽しかった～(o^▽^o)
いつも、ありがとうございます！
また、参加させていただきたいです。TURUGA



第34回 福岡空港ミリオン清掃

4月3日(土曜日)

10名参加

日本一きれいな博多駅・福岡の街に！

第 329 回

博多駅 早朝清掃

毎月 **8** 日 午前6時15分～

【第一回】平成5年12月8日開催

福岡実践人・JR九州博多駅
精華女子高等学校・福岡掃除に学ぶ会

 ハウスメイト

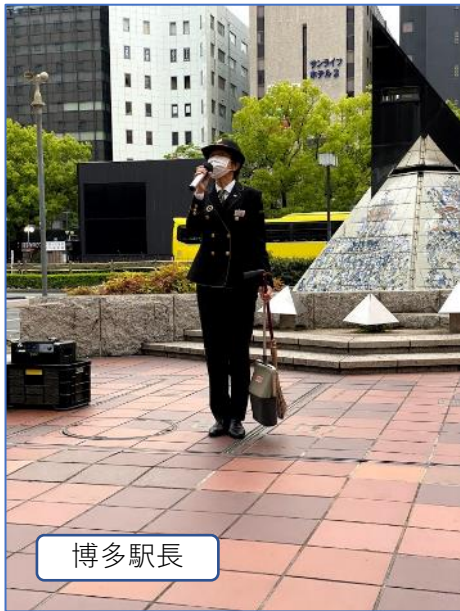


第329回 博多駅早朝清掃 28年目・・・
4月8日(木曜日) 65名参加



駅長さんの明るく元気な挨拶でスタートした博多駅早朝清掃でした。お気に入りの排水溝もずいぶん簡単に開くようになり、成果を感じることができました。次はなかなかの宝の山が潜んでいる、お隣の排水溝を攻略したいと思います！なんとなくウキウキする4月のお掃除でした。

TURUGA

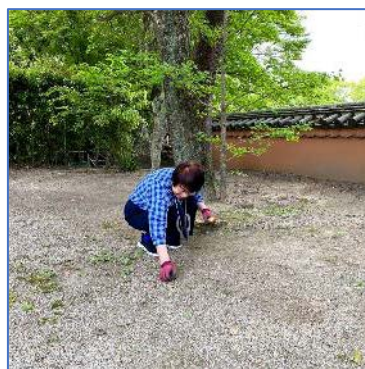


今朝もありがとうございました！
グレーティングも綺麗になり、とても
清々しい気持ちです。
タクシーの方が話しかけてくださっ
たり、福岡の方々の人の良さをとて
も感じました。

MEGUMI

令和を巡る早朝清掃／戒壇院 2020.1.25～

4月24日(土曜日) 第16回



今回は初めてお寺のお掃除をさせていただいたのですが、普段のゴミ拾いと違い枝や葉っぱ拾いをするのは不思議な感覚でした。

また、朝のお寺はとても良い気持ちで、楽しく掃除をすることが出来ました。

ありがとうございました。

YUICHIRO

今回は、お寺の外回りの掃除でした。
お寺の垣根の横には、細くなだらかな坂道が山へと向かってのびており、その場の空間はとても和やかで趣深いものがあります。
垣根の掃除をしていると、犬の散歩やジョギングをしている住民の方々から、お礼の言葉をかけていただきました。とてもありがたいです。
戒壇院という由緒あるお寺とのご縁に感謝です。ありがとうございました。

MARIMARI

耕作放棄地再生と清爽活動in酒殿2020.12.29~

4月10日(土曜日)



はじめて見るポットン便所に驚いたことでしょう！



公共トイレの掃除を経験するのは2回目ですが、トイレ掃除をして学べることはあるとは思いませんでした。今回の掃除で学んだ『かきくけこ』を意識しながら行動していこうと思いました。良い体験と学びをいただき、ありがとうございます。 YUICHIRO



お掃除の後は、酒殿農園でリラックス

新新塚駅早朝清掃/いづか明星寺団地自治会

4月17日(土曜日) 8名参加



今日は雨の中でのお掃除でした。
街路樹の根元の草が気になり、草取りをすることに(^.^)良いあんばいに土が湿っており、気持ち良いほどに草が抜け、あっという間にスッキリ♡敷き詰められたブロックも、雨に洗われてスッキリ♡ついでに心のモヤモヤも、雨に洗われてスッキリ♡です。世間体や常識を気にすることなく、自然界に身を任せることで、目に見える汚れだけでなく、目には見えない汚れまでも洗い流してくれる。そんな体験をすることができました。

MARIMARI



予報で雨になっていた通り、お掃除が始まって、しっかり降り始めました。
雨具を着てのお掃除は初めてでしたが、ゴミを拾いながら、どんどん洗ってもらえているようで、スッキリ！雨でも、みなさん元気一杯で、とっても清々しい気持ちになりました。

前日

「明日お父さん掃除に行くよ。」

「うーん。いく！」

「明日はこれ着ていこ〜♪」

帰りの車で

「今日はお掃除よりお話がながかったね。」

「みてみて！山とくもがくつついてる！」

くもさわってみた〜い！」

その後いつの間にか爆睡してました。

お掃除のおかげで朝からほっこり(^-^)
またよろしくお願ひします。

TURUGA

耕作放棄地再生に取り組む農友支援

糟屋郡志免町 恵堤農場

NPO法人 楽農人



草刈り作業

お掃除道友が耕作放棄地再生に着手しました。20年以上耕作知らずの田んぼの土は岩のようです。



トラクター耕耘体験



もみ殻ぼかしで土壌改良



畝立て作業実習

ゴッホが、南フランス、豊かなプロヴァンス地方ともいべきアルルにやってきたのは一八八八年二月二一日のことだったから、南のこととはいえ、一帯はまだうつつらと雪に覆われていた。その風景をゴッホは日本のようだと感じる。「雪のなかに雪のように光った空を背景にした白い山の頂が見えている風景は、まるでもう日本人が描いた冬景色のようだった」

実はゴッホはパリ時代に、印象派の色彩分割法に触発されて、生の色彩の持つそれ自体としての表現力に自分の感情を依託する表現法を我がものとしつつあったが、ここにもうひとつの問題が登場した。それは色彩というものは、平たく、幅広く、そして厚く塗られることによって表現力を強めるということであった。平たく、幅広く塗られた色彩の持つ不思議な魅力は、ゴッホもすでにオランダ時代から集めていて仕事場の壁に貼り付けて楽しんでいた日本の浮世絵に見られるものだった。格別、彼らが安く手に入れることのできた江戸末期から明治初期にかけての浮世絵は、ゴッホの模写によつても知られるごとく、かなり強烈な色彩が使われているように彼らの眼に映っていたのである。しかしながら、平塗の色面は、ゴッホがパリ時代に試しつつあった分割的なタッチや点描とは明らかに矛盾するものであるというよりも、生き生きとして活力に満ちた絵画にはなじまない。実は日本の浮世絵版画は、悠揚に線の流れや、意想外の構図がもたらす空間の暗示力によってこの問題を瀟洒に解決していたのであったが、ゴッホはこのアルルにおいてこれからの諸問題にありまみえるさなかに、成熟した夏の季節を迎えることとなるのである。

アルルで最初にやってきた感動は、三月の花盛りの果樹園だった。強い北西風を避けるために糸杉の立木でゆつたりと囲まれたこの果樹園は、まるで中世の楽園ホルトウス・コンクルススのようだが、このなかで、アーモンド、プラム、アプリコット、梨、桃、リンゴなど、あらゆる果樹がいつせいに花を咲かせた。白やピンクの小さな花々をとらえるには印象派の細やかなタッチが有効である。花々のひとつひとつに燦々と輝く光は、世界にあまねく降り注ぐ何か聖なるものの

ごとく感じられる。枝をのぼす樹木、生えいづる下草には抑揚のある線描が使われた。日本人のように、「筆にまかせて」線がひかれるのである。「日本人が素早く、稲妻のように素早くデッサンするのは、その神経が我々より繊細で、感情が素朴であるからだ」ゴッホはこう記したが、これはむしろ彼自身がそうなっているということであり、「筆にまかせて」いる彼は、この生きた自然とひとつのものとなっているのである。

オランダ王国、クレラー・ミラー美術館財団 ゴッホの四季、ゴッホの人生より
二〇〇〇年二月一日〜二〇〇〇年三月二三日 福岡美術館

バン・ゴッホ 一八五三〜一八九〇

二〇二一年四月一七日

広葉の林を育てる会



fig.7
《ジャポネズリー、花咲く梅の木（広重による）》
1887年、アムステルダム、ゴッホ美術館



再生五月号

令和参年五月八日発行 (毎月一回八日発行)

創刊 平成二十八年九月一日

発行人 富 袈裟右衛門

5 月の活動予定表											6 月の活動予定表					
日	1	2	8	15	20	22	23	29	30	30	2	5	8	12	19	26
曜	土	日	土	土	木	土	日	土	日	日	水	土	火	土	土	土
行事活動名	福岡空港ミリオン清掃 第36回	楽農人遊休農地再生楽交I 志免	博多駅早朝清掃 第330回	JR酒殿駅早朝清掃 第5回	綿花の種蒔き	新飯塚駅早朝清掃	明星寺団地草刈り奉仕作業	令和を巡る早朝清掃 第16回	お初天神通り街商店 街頭清掃	第一回 ゆかり読書会	刈り払い機機 安全講習	福岡空港ミリオン清掃 第37回	博多駅早朝清掃 第331回	JR酒殿駅早朝清掃 第6回	新飯塚駅早朝清掃	令和を巡る早朝清掃 第17回
場所	福岡空港 周辺二万m	福岡県 宇美・志免・粕屋	博多駅筑紫口	JR香椎線 酒殿駅北口	志免圃場	福岡県飯塚市新飯塚駅	飯塚市明星寺団地	福岡県太宰府市 戒壇院	大阪市	大阪市中央公民館	福岡市	福岡空港 周辺二万m	博多駅筑紫口	JR香椎線 酒殿駅北口	福岡県飯塚市新飯塚駅	福岡県太宰府市 戒壇院
開始時刻	6時30分	10時	6時15分	6時30分	10時	6時30分	8時	6時30分	5時30分	9時45分	9時	6時30分	6時15分	6時30分	6時30分	6時30分
運営団体	福岡清爽クラブ	福岡清爽クラブ 楽農人耕作放棄地再生楽交	福岡清爽クラブ	福岡清爽クラブ 楽農人耕作放棄地再生楽交	NPO法人楽農人	いづか清爽クラブ	明星寺団地自治会 NPO法人楽農人	福岡清爽クラブ	大阪掃除に学ぶ会	ゆかり読書会	NPO法人楽農人	福岡清爽クラブ	福岡清爽クラブ	福岡清爽クラブ 楽農人耕作放棄地再生楽交	いづか清爽クラブ	福岡清爽クラブ

楽農人遊休農地再生楽交の活動予定は<https://www.rakunoujin.com/>を確認下さい。

発行人(編集人) 富吉 袈裟右衛門

- ◇NPO法人福岡実践人 福岡清爽クラブ
 - ◇一般社団法人 実践人の家 福岡仁風読書会
 - ◇NPO法人 楽農人 耕作放棄地再生支援楽交
- 〈合同事務局〉 〒811-2247

福岡県糟屋郡志免町向ヶ丘2丁目4番3号 <<仁風庵>>
 TEL 092-931-8155(掃除) 931-8150(読書) FAX 092-931-8120
 E-mail fukusoukai@souji.link (掃除)
 kesa@rakunoujin.com(農業)



「再生」に掲載している写真は、富吉が撮影・管理しています。必要な方は事務局までご連絡ください。